

7. 次年度以降の取組の方向性

- ① 地域、企業等と学校の橋渡しの役割を担うサポートボード機能を高めるために、各部会において熟議を行うことを活動の中心とする。現在の学校の課題をはじめ、令和5年に塔南高校が移転・再編される予定の「新しい普通科系高校」の教育についても、理事と教職員が深く議論し、具体的な解決策や方向性を見出したい。
- ② 学校評価部会においては、学校評価を踏まえて、学校の課題をしっかりと共有し、その解決に向けた重点的な取組を決めることとする。そのことにより、学校評価を学校経営の改善に一層活かしたい。
- ③ 地域協働部会は、企業や大学等を訪問して行うキャリア教育の取組と高校生が地域防災や学校防災に参画する取組を支援する。企業を含めた地域の魅力を生徒へ伝える取組や、生徒の主体的な活動の場の確保と継続的に学びを深める仕組を創り出したい。そのために、高等学校コンソーシアム京都、中小企業家同友会南支部、消防署などからも理事又は部会員を迎えたい。
- ④ 会議の場だけではなく、理事や部会員と生徒が話をし、意見交換をする場を設けたい。多くの生徒の声を直接聞くことで、理事や部会員の皆さんにリアリティをもって学校経営に関わっていただきたい。また、理事や部会員から地域や企業の方を紹介いただき、教員も様々な外部の方と意見交換する場を設け、多様な観点から学校運営を行っていききたい。